

TARO RACE REPORT

TARO SEKIGUCHI SANMEI Team TARO PLUSONE 2024

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

SUPERBIKE RACE in KYUSHU

2024 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦

- 大分県
- オートポリス
- 1周 = 4.674km
- クラス / JSB1000
- マシン / BMW M1000RR
- タイヤ / BRIDGESTONE

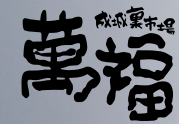
JSB1000 #12 関口 太郎

RACE 1

9月7日(土) 天候:曇り コース:ドライ
予選 13番手 (タイム: 1分49秒867)
決勝 10位

RACE 2

9月8日(日) 天候:晴れ コース:ドライ
予選 13番手 (タイム: 1分50秒342)
決勝 11位



ポジティブなレース内容となったオートポリスラウンド

第5戦もてぎ2&4レースから2週間後に行われたシリーズ第6戦オートポリス。前週には事前公開テストが予定されていたが、Team TAROは予算の問題としてSUGOに続きキャンセルを決めていた。そんなTeam TAROにとって追い風とも言える出来事が起きる。大型で足の遅い台風10号の影響を受け事前公開テストが中止となったのだ。これで他のエントリーと同条件にレースウィークをスタートできることになっていた。



レースウィークの天候はオートポリスにしては珍しく安定し、すべてのセッション、レースはドライコンディションで行われた。初日の1本目の走行では、まず昨年のセッティングで走り出し、2本目では若干セッティングを変更しつつ、タイヤセレクトを行い1分50秒642をマークし12番手につけていた。



30分1セッションで行われた公式予選は、最初おアタックで1分50秒380を記録。ピットインし、足回りをアジャストして、セッション終盤にニュータイヤを履いてアタックすると1分49秒867で13番手、計測最終周にマークした1分50秒342がセカンドラップタイムとなり、こちらも13番手と両レースとも同じグリッドからスタートすることになっていた。



迎えたレース1。スタート直後の位置取りが良くなく集団に飲まれてしまう。オープニングラップは、12番手につけ前を追って行く。すると、前でコースアウトやペナルティを受けるライダーがいたため徐々にポジションアップ。さらに前を狙って行くが7周目に転倒があり赤旗中断。残り8周で再スタートが切られることになる。

3列目9番手グリッドから2度目のスタートを切ると、今度はベースアップもうまく行き2周目には8番手に浮上する。中盤には、1台にかわされ9番手となるが、何とかシングルフィニッシュを果たしたいところだった。しかし最終ラップに一つポジションを落とし10位でゴールとなった。

レース2に向けて朝のウォームアップ走行で試したセットに手応えがあり、さらに上位を狙っていたのだが…。レースが始まると今ひとつ序盤にベースを上げることができない。ライディングでアジャストしていくが、ストレートでかわされてしまう。そのまま周回を重ねていき、最終ラップに前で転倒があったため、一つポジションを上げて12位でゴールした。



予選では、1分49秒台に入れることができましたし、レース1は良いペースで走ることができました。レース2は12位と決して満足できませんが、結果以上に得るものがあつたので、次戦、岡山ラウンドにつながるレースになったと思います。岡山も事前公開テストには参加しない予定なので、レースウィークでうまくまとめられるようにチーム一丸となって戦います。引き続き応援よろしくお願いいたします。最後にレース中のアクシデントで亡くなった芳賀涼大選手のご冥福をお祈りいたします。

関口 太郎

